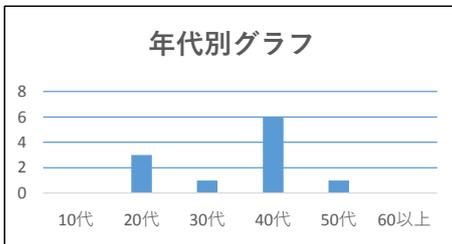


市内の就労定着支援における現状

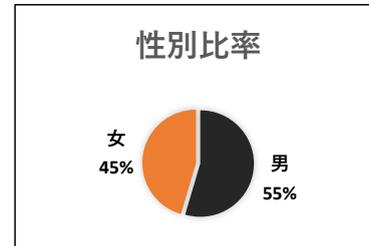
①市内の就労定着支援事業所における利用者状況 (令和元年5月末現在)

(市外者の利用者を含む)

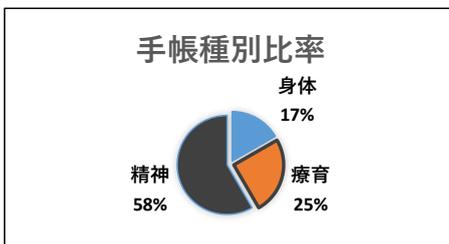
	年齢	性別	手帳種別	就労移行利用期間
1	49歳	男	精神	2年
2	46歳	男	精神	2年
3	25歳	女	身体	2年
4	26歳	女	身体療育	1年10か月
5	34歳	女	精神	3年
6	45歳	男	精神	1年
7	52歳	男	精神	8か月
8	41歳	男	精神	1年4か月
9	43歳	女	精神	2年
10	23歳	男	療育	8か月
11	41歳	女	療育	1年



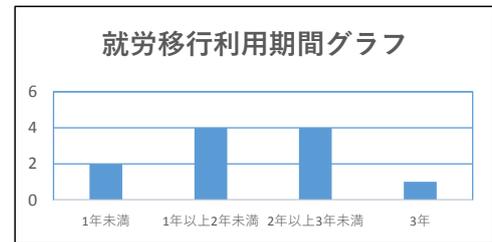
- ・40代の利用率が高い。
- ・現段階では10代・60代の利用はない。



- ・男女比ではほぼ差がない。



- ・精神障害者手帳を有している方の利用率が高い。



- ・「1年以上、3年未満」の利用で就労定着支援に移行することが多い傾向がある。

②事業所数及び支給決定者数 (令和元年5月末現在)

(就労定着支援事業に関する事業所種別を抜粋)

	就労定着支援	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	自立訓練(生活訓練)
事業所数	4	13	37	46	24	3
支給決定者数	5	91	592	808	893	39

③各事業所から一般就労への移行人数

(就労定着支援事業に関する事業所種別を抜粋)

	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	自立訓練(生活訓練)
平成29年度	25 (14)	36 (17)	5 (4)	0 (0)	0 (0)
平成30年度	20 (9)	36 (20)	8 (6)	0 (0)	3 (2)
令和元年度 (5月末まで)	12 (7)	10 (6)	6 (3)	0 (0)	0 (0)

※()内の数は精神障害者手帳を所持している者の数

- ・②支給決定者数を踏まえると、一般就労への移行率は就労移行支援が一番高い。
- ・精神障害者手帳を所持する者が多い傾向がある。
- ・就労定着支援の支給決定者数は5名であり、利用に至っている者はまだ少ない。